

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
83
2020.01



板橋キャンパス9号館前

02-03| 2020年 理事長・学長 年頭所感

09| サークル紹介 (学生赤十字奉仕団)

14-15| 在学生紹介 (造形表現学科)

18-19| 附属女子中学校・高等学校

04-08| 卒業学年特集

10-11| グローバル教育 (フランス服飾美術研修)

16-17| 活躍する卒業生 (シンガポール航空客室乗務員)

22-25| 日本経済新聞広告

12-13| 学内企業セミナー

28| 理事長コラム“世界を生きる”

年頭所感

学園の三大改革を加速

理事長 菅谷 定彦

渡辺学園の「教育」「財政」「意識」の三大改革を2020年は一段と加速します。

2018年から本格化した18歳人口の減少、政府の東京23区の私立大学定員規制により、過去20年間で既に22校減って72校になった四年制私立女子大は構造不況の最中にあります。東京家政大学を中核とし、139年の伝統、実績のある渡辺学園といえども、改革の進展なしには激動の嵐に吹き飛ばされかねません。

この困難な時代を乗り切るには、三つの改革を学園関係者全員が力を合わせて断行する以外に勝ち残る道はありません。この一年、学園関係者全員が気を引き締め、改革を前進させましょう。

教育改革では、山本和入学長の主導により、大学の将来ビジョン「ひとの生(Life)を支える学」の遂行が2018年7月決定されました。

この方針の下、優れた特色を強化しつつ情報化、グローバル化の進展、地球環境悪化に対応しうる学部、学科再編成の検討が始まりました。

財政改革では附属中学・高校の恒常赤字解消を目指し教員、労働組合の協力も得て、定員の半分にまで落ち込んだ生徒確保へ教育力充実、教員による近隣中高校からの生徒勧誘努力とあわせ、教員と理事長、常務理事の賞与カットと教育研究費の削減を実施しています。

さらに昨年6月、生徒数の激減に比べ過大な教員数67名を20名、特別の早期退職優遇制度を新設の上退職していただく方針を決め教員、組合に提示しました。

来春の新入生が篠澤文雄校長はじめ教職員の努力にもかかわらず一定の水準まで回復せず、展望も見通せないと判断した場合、さらに厳しいコスト削減策に踏み切らざるを得ません。

この間長年、赤字を続けてきた幼稚園・ナースリーは板橋区の補助金を得て定員を増やす新方式で、収支均衡に近付ける目途がたちました。

意識改革では、2016年の「あいさつ運動」の展開からスタートしましたが、一昨年春の大学人文学部の定員オーバーによる補助金カットは、関係者の情報収集力、教職員間伝達力の内外コミュニケーション不足が原因です。ハラスメントの全面禁止もその重要な柱です。

私はかねてから組織活性化の第一歩は内外コミュニケーション力強化にあると考え、実践もしてきました。一昨年10〜11月に続き昨年同時期に日本経済新聞紙で、学園初の本格宣伝広告を掲載、企業などへの知名度向上を図っているのもその一環です。

新年はこうした「教育」「財政」「意識」改革のさらなる浸透に力点を置きます。



学校法人渡辺学園・東京家政大学 理事長 菅谷 定彦

- 昭和 32年 3月 甲陽学院高校卒業
- 昭和 36年 3月 早稲田大学 第一政治経済学部卒業
- 昭和 36年 4月 日本経済新聞社 入社
- 昭和 46年 3月 日本経済新聞社 ニューヨーク特派員
- 昭和 62年 3月 日本経済新聞社 米州編集総局長 (在ニューヨーク)
- 平成 2年 3月 日本経済新聞社 取締役 大阪本社編集局長
- 平成 5年 3月 日本経済新聞社 常務取締役 名古屋支社代表
- 平成 10年 3月 日本経済新聞社 専務取締役 大阪本社代表
- 平成 13年 6月 テレビ東京 代表取締役社長
- 平成 19年 6月 テレビ東京 代表取締役会長
- 平成 23年 6月 テレビ東京 取締役相談役
- 平成 29年 6月 テレビ東京 特別顧問
- 平成 28年 4月 学校法人渡辺学園 理事長 就任

2020年

謹賀新年 来年令和3年度は、本学創立140周年となります。それを目前に、東京家政大学にとって令和元年度は激動の年でありました。大学は、板橋校舎2学部で新カリキュラムがスタートし、併せて、グローバル教育センターが活動を開始しました。令和2年度には新たなネイティブの先生方をお迎えし、更に学生の英語力向上を図ります。また、教学組織の会議体系見直しを始めたことがあげられます。昨年の6月以降、協議会と切り分けた、全学的・総合的な課題等を検討する最高位の会議として全学運営会議を定め、そのもとに4つの特別委員会を発足させました。すなわち、将来構想検討、改組検討、会議規程等検討、教育の質保証検討の4種類の委員会です。それらの委員会からはそれぞれ大き

な提案をまとめて頂いています。激動は今年も続きます。というよりも、本学は「激動期に入った」のです。これからは、毎年、PDCAのサイクルにより検討を加え、更に新しいカリキュラムを走らせることとなります。より魅力ある大学へと変化するため、「ひとの生(Life)を支える学の構築」を目指し、それにふさわしい教育・研究を行う東京家政大学へと改組を検討中です。そして、以前からお伝えしていたように、諸研究所・センターがヒューマンライフ支援機構としての活動を開始します。包括協定を結んでいる自治体の首長様からも、機構の活動についてご意見を頂き、産官学民との連携協力が求められている現在、先生方や学生たちがこれまで築き上げてきた活動を生かし、総力を挙げ

て、本学らしい教育・研究の「家政大ブランド」を作り上げていきたいと思えます。大学として誕生した本学は、家政学部から始まり、短期大学部を併設、人文学部、看護学部（現在は健康科学部）、子ども学部を加え、4学部の体制になりました。更には大学院も設置し、本格的な総合大学として活動しています。今この時に、栄養学、児童学をはじめとする専門分野の充実・拡大を図り、さらなる発展を目指した学部体制を作り上げていきます。大学は、教職員だけで創れるものではありません。学生、卒業生、保護者の皆さま、そして社会的な承認と支援が欠かせません。皆様からのお力を得て、創立140周年を迎えていきたいと思えます。

東京家政大学は変わります！

学長 山本和人

東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長 山本 和人

昭和49年3月 埼玉大学教育学部小学校教員養成課程（教育学専修）卒業
 昭和53年3月 東京教育大学大学院 修士課程教育学研究科社会教育専修修了【教育学修士】
 昭和54年3月 筑波大学博士課程大学院 教育学研究科社会教育学専修博士課程単位取得後退学
 昭和54年4月 金沢大学・大学教育開放センター助手（昭和62年3月まで）
 昭和62年4月から本学に勤務
 文学部長、図書館長、地域連携推進センター所長、人文学部長を歴任
 平成29年4月 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長 就任

東京家政大学で過ごした日々と、 わたしからの「ありがとう」



3月に卒業を迎える大学4年生、短大2年生。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部で過ごした日々を振り返り、感謝を伝えたい相手にその思いを伝えてもらいます。

本学の生活信条「愛情・勤勉・聡明」が漂う、

令和元年度卒業生のメッセージを是非ご一読ください。

内定先のルミネでも携わってみたい ブランド企画を卒業研究で立案

家政学部服飾美術学科4年

佐藤 冴さん



高校生の時に文化祭でファッションショーを行う部活動「服飾部」に所属していたこともあり、服飾関係の進路を選びました。専門学校の選択肢もありましたが、より自由に幅広く学べる4年制大学を選びました。実際に、共通科目を通じて「日本国憲法」のような大人であれば身に着けておくべき教養を改めて大学で学べたことは非常に良かったと、振り返ることが出来ます。

4年間で最も大変だったのは、大学3年の前期にジャケットを製作する「服飾造形Ⅲ」の授業です。ウール生地は他の生地と比べて扱いづらく、ジャケットは製作工程も多いことに加え、裏側を丁寧に処理しないと表面がきれいに仕上がらないといった縫製技術も求められ、苦労しました。授業があった土曜日は朝から夜まで、大学にこもって製作に励みました。2年後期にジャケットと同じ生地で作ったパンツとセットアップでも使え、就職活動でも着用した思い入れのある一着になりました。

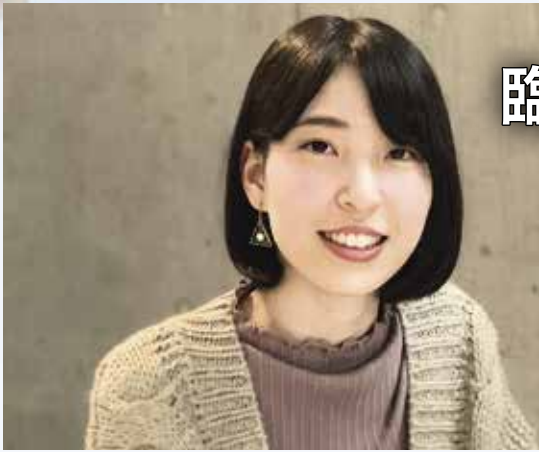
卒業後は、株式会社ルミネに内定しています。ルミネに就職した先輩の話聞いて興味を持ち、インターシップに参加したことがきっかけでした。飲食や雑貨なども取り扱っていることで、洋服以外の興味も生かしながら可能性を広げることができそうと思いい、採用試験を受けました。内定者懇親会で会ったキラキラしたオーラを放つ女性社員の「友達の誰よりも仕事を楽しんでいる自信がある」と語る姿に憧れています。わたし自身も

ポジティブな気持ちで、仕事を楽しんでいきたいと、今からワクワクしています。

卒業研究では、履修しているゼミナールでブランド企画を立案し、その企画書を作成しています。テーマは、「柄物で個性を持たせながらも上品さを忘れないブランド」です。各アイテムデザイン画を描き、使用するカラーの世界観を絞りながらプリントパターンを作成、デザイン画へマッピングさせ、最終的には取り扱う商品のラインナップを決めて企画書にまとめます。内定先のルミネで、メーカーと協業でブランドを立ち上げている事業にいつか携わってみたいという希望があるので、楽しく取り組んでいます。

♥わたしからの「ありがとう」♥

就職活動で心が折れかけていた時にアドバイスをくれた、アルバイト先の店長に感謝しています。書類選考が通らなかったり、手応えを感じていた面接で落ちてしまったり、就職活動が続けるのが辛い時期がありました。そんなとき、社会人経験を積んだ女性店長が「そのままの佐藤さんで良いんだよ。自然体で無理に飾ることなくありのまままで話せば、絶対に面接官に伝わって上手くいくはず」と声をかけてくれました。この言葉はわたしの胸にストンと落ち、気持ちがスッと晴れたのを覚えています。そこから、肩の力を抜いて臨むことを意識するようになると、結果が変わってきました。あのときの店長の言葉があったからこそ、今に繋がっています。ありがとうございました。



臨床心理士を目指し、 九州大学大学院へ進学

人文学部心理カウンセリング学科4年

上田 綾香さん

中学生の頃から友達との悩み相談を受けることが多くあり、話を聞くだけでも人の心には変化が生じると感じていて、高校の職業別講演会で臨床心理士の話を聞き、大学では心理学を学ぼうと決めていました。

大学に入学して最初に実感したのは、心理学の奥深さ。一口に心理学といっても、学習心理や社会心理などいろいろな分野があり、さらには、より科学的な分析や、哲学的に捉える科目もあり、非常に興味深い学問です。特に関心を持ったのは、発達心理学と障害者・障害児心理学で、実際に発達障害を持つ子どもの学習支援のアルバイトも経験しました。そこで実際に子どもたちと接すると、どうしてこの子はこのよう行動に出るのだろうかとか、わたしだったら同じことを言われれば理解できるのにどうしてこの子には伝わらないのだろうか、様々な疑問を持ちました。それらの疑問を図書館で調べたり、周りの人に聞いてみたりすることで、心理学の知識を深められたように思います。

目指している臨床心理士の資格取得には大学院修了が必須なので、卒業後の進路はおのずと大学院進学となりました。情報収集をする中で大学2年の終わり頃に学問領域や研究内容から九州大学に興味を持ちました。熊本出身ということもあり大学卒業後は東京を離れ、静かな環境で勉強したいという思いもありました。受験に向けて、3年生の夏休みから専門科目の勉強を本格的に始め、願書提出時

に必要な修士論文のテーマについても検討していきました。そして、苦しい受験準備期間を経て、昨年9月に九州大学大学院へ合格することができました。国立の大学院は、外部の大学からの学生受け入れが少ない傾向がありますので、合格した時には本当に嬉しくて安堵しました。

将来については、発達障害を持つ人とその家族の生きやすさにつながるような支援に携わりたいと思っています。最近では発達障害にかかるチェックリストなども普及していますが、短絡的に特性を障害に結び付けることなく、「人が持つ特性は個性なのだからそのまま受け止めて良いんだよ」という認識が広がる社会になれば良いと考えています。

♥わたしからの「ありがとう」♥

大学生活で多くの時間をともに過ごした友人に感謝しています。熊本から上京して心細かったですが、友人に聞けばいろいろな情報を教えてくれました。特に、大学院への進学を一緒に目指していた友人とは、受験の期間、毎晩遅くまで図書館やパソコン室で一緒に勉強。隣で勉強に打ち込む友人の姿を見て奮起できましたし、時にはふざけ合っただけ息抜きもできました。大学院合格も一緒に喜んでくれ、大阪・京都へお疲れ様の旅行にも出かけました。あいにく雨だったのに、それでも本当に楽しかった！大学で出会ったほとんどの友人とは、卒業後は離れてしまうけれど、時間を見つけてお互いに会いに行き来する仲でいたいです。

一生懸命学んできた学生が夢をつかむためのキャリア支援



〈多彩なプログラム〉

板橋キャンパスでは「学生が主役」の発想で、1年次からキャリア形成に関する知識や就業意識を高める多彩なプログラムを用意しています。狭山キャンパスでは、学科の特色を踏まえ、業界の理解を深めるプログラムが特徴です。

〈個別指導の徹底〉

小学校校長・管理栄養士・保育園園長・看護師など、様々な経歴と実践経験を持つ進路アドバイザーが在籍。自身の経験も踏まえた進路指導を行い、学生一人ひとりが描くキャリアプランを、ともに実現させていきます。

教職員の惜しみないサポートに 感謝、大学への恩返しも

健康科学部看護学科4年

松原 舞さん



中学生の時の入院がきっかけで、看護師を目指しました。色々な大学のオープンキャンパスに行き、在学生の雰囲気や勉強に集中できる環境に惹かれて東京家政大学に決めました。

大学4年になった今は、看護師に加え保健師を目指して保健師課程（選抜制）を履修しています。市町村保健センターでの実習では、乳幼児教室に参加されたお母さんから「初めての子どもでも不安も多いけれど、わからないことをすぐに相談できる場所」との声を聞き、住民に寄り添う保健師の役割を現場で実感できたことは印象深い出来事でした。

大学生活を振り返ると、想像していたよりも何十倍も楽しくて、充実の毎日でした。学業優先で勉強に励みながら、球技同好会に所属してフットサルで汗を流し、試食販売のアルバイトでは初対面の方に話しかける度胸もつきました。また、この4年間は実家を離れて学寮で過ごしたので、金銭感覚や洗濯・掃除など日常生活でも成長がありましたし、学年・学部を超えた交友関係を築けたことが何より自分の財産になりました。

東京家政大学を選んで良かったと断言できる理由は、教職員との距離が近いこと。学業や実習のこと、生活面や経済面のことにも気兼ねなく相談でき、親身に話を聞いてくれました。何か新しいチャレンジをしたければ、いくらでも応援してもらえます。今年度の後期に「球技祭」を企画・実施した際にも、惜しみなくサポートしてくださいました。こんなことから、母校となる大学へ恩返ししがたく

て、オープンキャンパスのボランティアには毎回参加し、受験生へ大学の魅力を伝えてきました。

卒業後は千葉県の総合病院で働く予定です。大学1年の頃から様々な病院や保健センターでインターンシップを重ね、10カ所以上で体験しました。自分が納得できる就職がしたいとの思いが強くありました。インターンシップで施設ごとの雰囲気や特徴を知りながら、自分がどこでどう働きたいのかを深掘りすることもでき、その結果新人看護師の育成を大事にしてくれる、今の内定先に決めました。

そして今は、2月の国家試験に向けて勉強の日々です。学寮の自室には、「試験の目標点数」と「起きている時間は机に座って勉強！」と書いた紙を貼って、自分自身を鼓舞しています。挑戦と努力の姿勢、周りへの感謝の気持ちを忘れず、この先も歩んでいきたいです。

♥わたしからの「ありがとう」♥

看護学科は学費も高いこともあり、大学に通わせてくれた両親には感謝を伝えたいです。自身もアルバイトをしていましたが、現在履修している保健師課程は選抜試験があり、それに向けて学業を優先することができたのも、両親のおかげです。また、保健師の実習で、育児の大変さを目の当たりにし、3人の子どもを育てた両親の偉大さを実感しました。いつも応援してくれて、ありがとう。

2018年に健康科学部へ、 リハビリテーション学科も開設

2016年入学の現大学4年生が入学した当時、現在の健康科学部は看護学部でした。2年後の2018年4月に健康科学部へ名称を変更し、リハビリテーション学科を開設。作業療法士と理学療法士の2職種を養成する大学は、日本の女子大学において本学が初めてです。「自分らしく生活する」を支える看護およびリハビリテーションサービスが実践できる専門職者の育成が健康科学部のミッションです。2019年6月には「かせい森の産後ケアサロン」も開設しました。



狭山キャンパス6号館(リハビリテーション学科)



子どもの考える力や発想を大切に 可能性を広げる保育者を目指して

子ども学部子ども支援学科4年

平田 莉奈さん

私が小学生の頃に生まれた従弟と一緒に遊び面倒を見る中で、子どもの可愛さに気づいたことが保育士を目指すきっかけでした。東京家政大学のオープンキャンパスであたたかい校風だと感じ、特別支援や健康保育に関する科目構成にも惹かれて、子ども支援学科に入学を決意しました。

大学生活で最も濃い時間を過ごしたのは、3年次の保育実習です。新たな発見や課題を見つけた期間でした。例えば、「わたしのワンピース」という絵本を題材にして3歳児の子どもたちが画用紙に書いた絵は、カラフルなぐるぐるした丸や線でした。何を書いたの？と子どもに尋ねると、キャンディー、新幹線などの答えが返ってきました。描かれた絵には、子どもたちなりの世界があるのだと、興味深い発見でした。また、子ども同士のトラブルが起きた際には、その場限りの幕引きではなく、成長機会に繋げるための保育士からの言葉がけについて考えさせられました。専門的な勉強をしたからこそ得られる気づきでした。

卒論のテーマ設定も実習中の気づきからきっかけとなりました。子どもが発する言葉には、オノマトペ（擬音語や擬態語などの総称）を使った面白い言葉が多く、さらに保育者も「うさぎになりきってピョンピョンしよう」と表現するなど、保育の中で頻繁に使用します。これに注目して、卒論は「遊びに見られるオノマトペによる子どもの育ち〜自由遊び場面の観察を通して〜」をテーマに執筆しています。

わたしは静岡県出身なので高校卒業後は実家を離れ、大学2年までは学寮で過

ごし、3年からは一人暮らしをしています。学寮は、学部と学年が混在した4人部屋でした。授業を受けるだけの学生生活では絶対に知り合えない学部を超えた友達や、学生生活について相談できる先輩ができました。先輩とも食事に出掛けたり、消灯前までみんなでおしゃべりしたり、学生生活を謳歌することができました。2年目になる一人暮らしは、どんなに疲れて帰っても家事をしなければいけないが大変ではありますが、慣れてきた今は自分の自由な時間を楽しめています。

卒業後は都内の私立保育園で保育士として働く予定です。一人ひとりの子どもの考える力や豊かな発想を大切にして、子どもの可能性を広げていける保育者を目指しています。

♥わたしからの「ありがとう」♥

経済的にも精神的にも支えてくれている両親には、本当に感謝しています。一人暮らしを始めてからは、母に電話で、体調を崩して発熱したときに熱を早く下げる方法を教えてもらったり、決断に迷っているときに話を聞いてもらったりしています。何か困ったことがあったら、遠くにいても助けてくれる、というのは心強いです。もちろん、普段でも、ご飯のアレンジ方法を聞くなど、家事や生活の知恵も教えてもらっています。小さい頃から、わたしがやってみたくいことに両親はノーと言うことなく、環境を用意してくれたことで、今の自分があります。様々な経験をさせてくれたこと、一人暮らしをさせてくれたこと、大学で勉強させてくれたことに、感謝しています。

自然豊かな環境に、子どものための施設を併設



かせい森のおうち(保育所)

〈かせい森のおうち〉

0～6歳の乳幼児たちが毎日元気に過ごす狭山市の認可保育所

〈かせい森のクリニック〉

小児・アレルギー科、小児神経内科(発達障がい)、内科、循環器内科を診療・研究する医療機関(※予約制)

〈かせい森の放課後等デイサービス「つくし」〉

特別支援学級・通級指導教室などに在籍している小中学生(高校生)を対象に、発達・成長を支援する施設

就職がゴールではない この先も努力し続けなければ

短期大学部保育科2年

安井 華綺さん



小学校の頃から保育士になるのが夢で、高校入学当初から東京家政大学短期大学部保育科を目指し、指定校推薦で入学しました。

短大保育科は2年間で幼稚園教諭2種・保育士の2つの資格を取得するというところとあって、特に1年次は1限から5限まで全て授業がある日も多く、入学したての頃はどっやっこなしていつこうかと途方に暮れることもありました。その中で、わたしが工夫したのは時間の使い方です。帰りの電車で、その日のノートを見ながら記憶が鮮明なうちに内容を整理して復習し、帰宅後は翌日の予習にあてました。予習して授業に臨むことで、先生はこういふことを意味しているのだろうなと予測でき、余裕をもってより多くのことを学べました。高校までとは違って、専門知識や実践的なことを学ぶ短大生活では、教わったことを自分のものとして確実に身に着けないといけないですし、しかも多くの授業を並行して履修するので、短時間でも集中して勉強する、これを積み重ねてきました。

また、この2年間で特に記憶に残っているのは「実習」で、新しい視点で保育士をとらえることができる機会でした。大事なものは、保育士が何かをしてあげよう、何かをしなきゃというのではなくて、子どもが成長するために何をすべきなのか、子どもをしっかりと観察することで。実際の現場で、子どもを相手にして多くの気づきがありました。

勉強以外の学生生活も、欲張っているりと経験しました。個人的に洋服が大好きで、アパレル販売員のアルバイトを経験するなど、自分の好きなことをする時間も大いに楽しみました。こういった時間があつたからこそ、メリハリのある生活を送ることができて、勉強にもより一層集中して頑張ることができたと思います。

卒業後は私立保育園に就職予定です。ワクワクする気持ちと同時に、短大で教わった子どもに関する知識や関わり方以外にも、必要なことがもっとたくさん待ち構えているでしょうし、就職がゴールではない、だからこの先も努力しなければいけないと覚悟しています。

♥わたしからの「ありがとう」♥

この2年間で振り返り、一番に感謝したいのは母です。とりわけ、実習期間にはたくさん支えてもらいました。帰宅後は日誌に集中して良いからと、その期間だけは母が家事を全て担当してくれ、実習先で指導員の方から受けたアドバイスについて相談すると「働いてからじゃなくて、今わかったからこそ良かった。次に生かせばプラスになる！」と前向きな言葉を掛けてくれました。おいしい料理を作って待っていてくれて、「おかえり」の言葉だけで、安心することができました。小さいころから保育士になりたいと言ってきたわたしを、自分がやりたいことをやりなさいと、応援し続けてくれる母に感謝の気持ちでいっぱいです。

短期大学部から 東京家政大学への編入(3年次)も可能

さらに学びを深めたい場合には、併設短大推薦編入の制度があります。2年次に編入学試験を受験し合格すれば、保育科・栄養科から東京家政大学への編入が可能です。

●保育科の編入先

児童学科(児童学専攻、育児支援専攻)、児童教育学科、環境教育学科、英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科、教育福祉学科

●栄養科の編入先

栄養学科(栄養学専攻、管理栄養士専攻) 環境教育学科、英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科、教育福祉学科



公認サークル
「学生赤十字奉仕団」

日本赤十字社から 感謝状、受賞代表として 東京都大会に登壇

今年で創立30周年を迎える「学生赤十字奉仕団」は、約80名の部員で活動しています。2019年10月30日（水）には、ボランティア等功労者の功績を表彰する「令和元年度東京都赤十字大会」にて、壇上に登壇する受賞代表に選ばれ、日本赤十字社から感謝状が贈られました。今回は部長の宮本由佳子さんと副部長の鈴木綾さん（両名とも家政学部栄養学科栄養学専攻3年）にお話を聞きしました。



部長の宮本さん(右)、副部長の鈴木さん(左)

誇りに思う気持ちがより強く

Q: 日本赤十字社による感謝状、おめでとうございます。東京都赤十字大会はいかがでしたか？

A: 会場は明治神宮会館で行われ、表彰受賞者など約千人が出席していました。普段は経験できない機会に恵まれ光栄でしたし、日本赤十字の活動が多くの方々に支えられていて

ことも実感し、自分たちの活動を誇りに思う気持ちがより強くなりました。(宮本さん)



東京都赤十字大会にて受賞の様子

Q: 普段はどんな活動をしていますか？

A: 日本赤十字社のボランティア事業の中でも青年赤十字奉仕団という位置づけで、そこに所属する他大学とも交流しながら活動しています。普段は都内を中心に、①献血推進②「フレンズ」(詳しくは後述参照)③障がいを持つ子どもとの交流(日野市)④老人ホーム⑤児童館⑥日本赤十字社の協議会・講習会への参加などを行っています。(宮本さん)

人間関係を築き深めることを楽しむ

Q: 他大学との交流はどのように感じていますか？

A: 人脈が広がり、自分の成長に繋がっています。同じ大学の仲間は同じような志向性や価値観を持っていることが比較的多く、だからこそ意見交換できるというの

もありですが、その一方で、自分とは全く違う感性を持ち行動する人との触れ合いが、まさに大学生活といった感じで楽しんでいます。戸惑うこともありますが、色々な感情も沸きあがってきますし、でもその分だけ自分の世界が広がると感じています。(鈴木さん)

Q: ボランティア活動で一番に残っていることはどんなことですか？

A: 「フレンズ」という活動では、同年代の車いすの方とレクリエーションをして過ごします。食事やお手洗いの介助もするのですが、最初はとても不安で、パートナーの子に対してわたしに介助されるのは嫌なんじゃないかとも思っていたんです。でも、一緒に数時間レクリエーションをして過ごすことで徐々に打ち解けて、最後にはその子が手をつないでできてくれて。本当に嬉しかったです。他の方とも交流できたのもっと楽しいだろうなと思って、活動を継続するきっかけになった出来事でした。今では「フレンズ」はわたしにとっ

Q: 介助をする際に大事にしていることはありますか？

A: コミュニケーションを取って、相手の望むことを汲み取りながら介助することが大事だと思っています。他愛のない話をしながらお互いにリラックスできる関係を築いていくのがとても楽しいです。初めは少ししつこい態度だった車いすの方が、交流の時間を重ねる中で、柔和な顔つきで自らわたしたちに話しかけてくるようになった

こともありました。その方の周囲との人間関係や生活が良い方向に変わったのかなと心を打たれました。ボランティアという人と人助けというイメージが強いのですが、楽しくないと続かなくて、人間関係を築き深めることを楽しむ、それがわたしたちの活動の根源です。(鈴木さん)

Q: ボランティア活動を通じて、社会を見る目も変わりましたか？

A: 「フレンズ」の活動では夏に旅行をするのですが、バリアフリーが整った観光施設が少ない、もしくは地域によっては無い場合も多くて、旅行を企画するのは四苦八苦します。みんなが気兼ねなく楽しめるテーマパークがもっと増えたら良いなと思いますし、自分としてもその分野には興味を持っています。(鈴木さん)

成分献血という選択肢も

Q: 学内でたまに献血バスが来ているのを見かけますが？

A: 板橋キャンパスでは年に3回ほど献血推進活動をしています。献血いただく方の健康を守るために400mL献血は体重50kg以上という基準もあり、それで断念する方もいると思いますが、血小板や血浆といった特定の成分だけを採血する成分献血なら体重40kg以上であれば健康な方に献血のご協力を是非お願いします。(宮本さん)



板橋キャンパス85周年記念館前

板橋キャンパス16号館2階

開室時間：平日 9時から17時

土曜日 9時から12時

問合せ：03-3961-1861

を築く

帰国後、英語学習に励む学生も

Q 研修に参加した学生の成長を感じた場面はありますか。

A フランスの服飾文化への理解はもちろんですが、学生間交流を通して、日本人学生とフランス人学生の考え方の違いや共通点を理解し、各都市と施設の訪問から文化の違いや多様性を感じて帰ってきた学生が多いと感じています。これらの経験を通して異文化を肌で感じることで、異なる環境や他人に対する受容性や適応性が養われているように感じます。また、学生間交流は英語で行いますが、高い英会話力があればさらに深い交流ができたと感じる学生が多く、帰国後に英語学習に更に力を入れる学生も多くなっています。



着物や忍者の衣装で

多くのことを吸収できる
大学生の今こそ

Q 参加を迷っている学生にメッセージをお願いします。

A フランス服飾美術研修は、フランス人学生との交流や服飾・染織品に関連した多様な施設の訪問と、短期間で効率的に多くの学びが得られる研修になっています。そして、個人旅行では経験できないプログラムを多く含んでいるところが本研修の魅力です。時間が取れて、多くのことを吸収できる大学生の今に、ぜひ多くの皆さんに参加して頂きたいと思っています。



ソレイアードミュージゼドテキスタイル



フロヴァンス衣装と宝石美術館

過去2回の研修に参加した学生からも、「初めてヨーロッパに行き、毎日服飾関連施設を巡って学べる芸術的な研修で日々感動していた」、「勇気を出して行ってよかった」、「様々なものを見て、自分が興味を持っているものを具体的に知ることができた」、「同世代の海外の学生と交流して自分の未熟さに気づきもっと勉強したいと思った」、など、今後につながるような研修へのフィードバックを多数もらっています。

服飾を専門とする先生方と、フランスの服飾関連施設をめぐることができる貴重な機会です。ぜひ多くの方に参加してもらいたいと思っています。

東京家政大学グローバル教育センター

高い専門性+英語力・グローバル マインド

フランス服飾美術研修

ヨーロッパの服飾文化と技術を学ぶ

フランス服飾美術研修は今年度で3回目を迎えます。フランスの北から南まで様々な街を訪れ、各地の美術館・博物館や工場見学をしたり、フランス第2の都市であるリヨンにある繊維科学技術系の大学 ITECHの学生との文化交流をしたり、と短い期間で専門分野と異文化交流について学べる研修になっています。今回はフランス服飾美術研修の立ち上げに関わった、服飾美術学科の濱田仁美准教授にお話を伺いました。



服飾美術学科
濱田准教授

他国の伝統や異文化を 直接見る、聞く、話す

Q 今年度で3回目となるフランス服飾美術研修ですが、フランスで服飾美術研修を実施することになった経緯を教えてください。

A 服飾美術の専門研修として、せっかく他国まで赴くことから、他国のファッションや染織文化を肌で感じ、他国の学生と直接の交流を行って欲しいと考えました。そこで、現地学生との交流を行い、現地の布地工場、伝統刺繍の博物館や織物美術館などを巡り、他国の伝統や異文化を直接見る、聞く、話すことにより、異文化や多様性を理解し、日本では得られない経験と知識を修得できる研修にしたいと考え、本研修を企画しました。フランスを選んだ理由は、ファッションに造詣が深い国であることはもちろんですが、本研修で訪れるアルザス地方、リヨン、南仏は、どの都市も服飾や染織品に大変関連が深い都市であるからです。



折り紙レクチャー



現地学生と集合写真

フランスの学生との交流、 個人では行けない施設訪問

Q 研修の魅力を教えてください。

A 一つは、フランスの学生と直接交流ができることです。リヨン繊維科学技術大学やファッション系の専門学校を訪れ、現地の学生に日本の伝統衣装の着付けをしたり、日本文化を紹介するワークショップを行っています。大学内の織機や実験装置の見学もしています。

もう一つは、個人旅行では訪れることのできない、服飾や染織品に関連した様々な施設を訪問できることです。アルザス地方は、歴史的にも染織産業が盛んな地域ですが、研修で訪れるミュールーズ染織博物館は、捺染*の染織品のコレクションで世界最高峰の評価を得ているところです。また、リヨンは絹織物産地として有名な都市で、同じく絹織物生産が盛んであった日本とのつながりもあり、富岡製糸場はリヨン近郊出身のフランス人技術者を招いて造られています。南仏では、プロヴァンス・プリントを代表するブランドのソレイアードやプロヴァンス衣装の美術館見学、プロヴァンス地方で伝統的に作られてきたブティ刺繍の実演の見学も行っています。

* なっせん・・・染色方法の一つ

2019年度 学内企業セミナー

2020年
2/7(金)、10(月)、12(水)、13(木)
3/3(火)、4(水)

キャンパス内で、
本学の学生に興味を持つ
約160社の企業セミナーに
参加できるチャンス!!



学内企業セミナーは例年、2月初旬から3月の6日間、約160社の人事担当者様に御来校いただき実施いたします。学生支援センターキャリア支援課のある16号館を会場に、午前と午後で参加企業様が入替わり、1日で6社、6日間で最大36社の説明会に参加することができます。

学生に対しては、時間や交通費などの観点からも、効率的に参加できる学内だからこそ積極的な参加を呼び掛けています。知らない企業へも足を運び、企業の説明会では聞きにくい情報を得て、さらに少人数で話が聞けるため自分を印象づけるチャンスであることを伝えていきます。キャンパス内での実施ゆえ、企業が実施する説明会と比較してアットホームで緊張感が和らいだ雰囲気の説明を聞くことができる点が、学生にとつてのメリットと言えます。

企業のご担当者様からは、広報活動開始前に行われる学内企業セミナーであることを考慮していただき採用選考活動に関する説明を除いた内容で、①会社概要・仕事内容、②求める人材像、③採用について説明いただきます。各企業の個別説明前には、全参加学生に対して企業紹介をさせていただく2分間のアピールタイムを設けています。また、通年採用の動向を受けて、低学年層の参加受け入れにもご理解いただいております。

今年度も多くの企業様のご理解とご協力により、学内企業セミナーを実施いたします。さらに、キャリア支援課では、このような学内企業セミナーへの新規参加企業の開拓も含め、学生の就職活動に役立つよう、企業とのネットワーク作り等にも注力して参ります。

企業が求める人物像

例年、学内企業セミナーにご参加の

ブルドックソース株式会社 総務人事部 部長 新開正道様からのメッセージ

就活のためだけでなく、様々な体験を



Bull-Dog

日頃より当社製品をご愛顧いただきまして有難うございます。

今日は、採用担当者として皆さんに求めていることについて書かせていただきます。

ブルドックソース株式会社は、今年で117年という歴史のある会社です。歴史があるからこそ変化に対してはとても慎重でした。しかしながら、3年前に社長が交代したこともあり、現在当社は大きな社内の常識改革に取り組んでいます。

ですので、新しいことに積極的に挑戦して、取り組んでもらえる人を求めています。変革させることはとても

パワーが必要です。一緒にブルドックソース株式会社を人に自慢できる会社に変革したいと本気で思って、本気で取り組める、そんな人が当社には必要です。だからこそ、今学生の皆さんには様々な体験をして欲しいと思います。

就活に必要なとか、就活のためにではなく、何でも良いので新しいこと、経験したことがないことに取り組んでください。必ず今後の自分の人生の糧になるはずですよ。



2020年 学内企業セミナー参加企業一覧

株式会社アーカー	住友生命保険相互会社	ブルドックソース株式会社
アース環境サービス株式会社	西洋フード・コンパグループ株式会社	一般財団法人ボーケン品質評価機構
アイア株式会社	積水ハウス株式会社	マツオインターナショナル株式会社
株式会社アダストリア	双日インフィニティ株式会社	株式会社マッシュホールディングス
アッシュ・ペー・フランス株式会社	第一屋製パン株式会社	丸三証券株式会社
株式会社あたらす二十一	大樹生命保険株式会社	丸真株式会社
株式会社アバハウスインターナショナル	株式会社高木商会	株式会社マルニートータルサービス
株式会社アルファシステムズ	高見株式会社	株式会社三城
一富士フードサービス株式会社	株式会社高山	株式会社ミキハウス
イトキン株式会社	滝沢ハム株式会社	株式会社美高商事
岩谷産業株式会社	東京信用金庫	三井食品株式会社
株式会社イング	タリーズコーヒージャパン株式会社	三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社
株式会社エイ・ネット	株式会社チノ	株式会社三越伊勢丹
株式会社エアーアンドエス	株式会社東京インテリア家具	株式会社三井不動産ホテルマネジメント
エムサービス株式会社	東京シティ信用金庫	株式会社三松
株式会社エスクリ	東京信用保証協会	株式会社明治
株式会社エフ・ディ・シー・フレンズ	東京地下鉄株式会社（東京メトロ）	明治安田生命保険相互会社
株式会社オカダヤ	東京納品代行株式会社	株式会社メフォス
株式会社オンワード樺山	東京ベイ信用金庫	株式会社メリーチョコレートカンパニー
一般財団法人カケンテストセンター	株式会社トットモロランド	株式会社モリタ
片倉工業株式会社	東洋冷蔵株式会社	株式会社モンテール
株式会社カドリールインターナショナル	株式会社東横イン	薬樹株式会社
株式会社かねまつ	東京東信用金庫	ヤマサ醤油株式会社
カネ美食品株式会社	株式会社豊島屋	ヤマトインターナショナル
川口信用金庫	戸田中央医科グループ	有機合成薬品工業株式会社
株式会社カワチ薬品	株式会社栃木屋	ユザワヤ商事株式会社
株式会社きちりホールディングス	株式会社ドトールコーヒー	株式会社ユナイテッドアローズ
清原株式会社	株式会社虎屋	株式会社ヨコオ
株式会社銀座コージーコーナー	トランス・コスモス株式会社	吉野石膏株式会社
株式会社久世	株式会社トンボ	株式会社ヨックモック
株式会社クリーク・アンド・リバー社	株式会社ナルミヤ・インターナショナル	株式会社らいふホールディングス
グリーンハウスグループ	株式会社日京クリエイト	リコージャパン株式会社
ケンコーマヨネーズ株式会社	日清医療食品株式会社	リゾートトラスト株式会社
株式会社神戸屋	日清オイリオグループ株式会社	りそなグループ
国分グループ	ニッポンハムグループ	株式会社ルックホールディングス
株式会社サザビーリーグ	一般財団法人日本食品分析センター	株式会社ルミネ
山喜株式会社	日本食研ホールディングス株式会社	株式会社レナウン
株式会社サンデリカ	日本ステリ株式会社	株式会社レバスト
株式会社ジーシー	日本生命保険相互会社	株式会社レリアン
敷島製パン株式会社	株式会社ノーリーズ	ロイヤルホールディングス株式会社
株式会社システムサポート	株式会社白洋舎	ロクシタンジャポン株式会社
シダックス株式会社	株式会社パノナグループ	株式会社ロココ
株式会社シップス	株式会社八芳園	株式会社ロココ・フィールド
株式会社シティーヒル	パルシステムグループ（生活協同組合）	株式会社ワコール
株式会社ジャヴァコーポレーション	株式会社ピー・エス・コープ	株式会社C. D. UNITED
株式会社ジュン	田島ルーフィング株式会社	株式会社IKGプロフェッショナルパートナーズ【イケガミグループ】
株式会社ジュンアシダ	株式会社ビームス	医療法人IMSグループ
株式会社ジョイックスコーポレーション	東日本旅客鉄道株式会社	株式会社LEOC
城北信用金庫	株式会社ピックルスコーポレーション	株式会社ルイ・ヴィトン ジャパン
株式会社叙々苑	株式会社ファンケル	MS&AD事務サービス株式会社
株式会社スーパーストックトーキョー	株式会社フォーラル	株式会社NSD
美鴨信用金庫	富士産業株式会社	株式会社TASAKI
スターツグループ	藤田観光株式会社	※「株式会社」を除く五十音順
株式会社ストライプインターナショナル	富士通ISサービス株式会社	※予告なく変更される可能性があります。



企業の人事担当者より 学生生活を過ごすヒント

（2018年度 参加企業アンケートより一部抜粋）

- 学外でも様々なコミュニティ、年齢、立場の方と関わり、**多様な世界観を受け入れる心**を育ててください。
- 目の前の**経験を「なぜ」「何のために」**行うのかという視点で考え、実りのあるものに変えていく力を養いましょう。
- 美味しいものをただ「美味しい」と楽しむだけでなく、**ビジネス的な視点から見るよう意識**してみましょう。
- インターンシップや留学、課外活動などを通して、**変化への適応能力**を身に付け、人脈を広げてください。

専門的な授業を 受けられるのは 大学生の時だけ 好きなことも 苦手なこともやり切る

家政学部造形表現学科3年

浅倉 里菜さん



●造形表現の総合力に惹かれて

東京家政大学の造形表現学科に入学した理由を尋ねると、「小さい頃から絵を描くことが好きで、中学校では美術部に所属していました。高校は普通科に進みましたが、高校3年で進路を真剣に考え始めたとき、やっぱり美術の勉強をしたいと思ひ、そのときに東京家政大学の造形表現学科を見つめました」

東京家政大学の造形表現学科に入学した理由を尋ねると、「小さい頃から絵を描くことが好きで、中学校では美術部に所属していました。高校は普通科に進みましたが、高校3年で進路を真剣に考え始めたとき、やっぱり美術の勉強をしたいと思ひ、そのときに東京家政大学の造形表現学科を見つめました」

1年次に多くの造形表現を体験し、ものづくり・デザイン・アートを基礎から学び、その後自分の専門性を見つけていくという造形表現の総合力を身につけるカリキュラムに惹かれ、東京家政大学へ入学しました。

実際の大学生活については、「高校は普通科に通っていたので、大学に入ってから自分の好きな造形表現の勉強ばかりを学べる環境で、自分の好きなことに夢中になれるのは、本当に楽しい。とはいえ、1・2年次には、自分の得手不得手や好き嫌いに関わらず、あらゆる分野をまんべんなく取り組むので、正直に言うと、とても苦労しました」と振り返ってくれました。写真のよくな作品からは想像できませんが、「金工の授業では銀や銅を火で溶かすのですが、1

年次の最初の授業ではそもそもバナーの火すら怖くて点けられなくて。そこからの始まりでした(笑)「こんな微笑ましいエピソードも教えてくれました。」



〈作品〉ペンダント

〈作品〉指輪

●独自の表現を追求する難しさ

現在履修している授業で興味深いのは「ファッション表現Ⅱ」。科目名からは洋服を作るの授業を想像していたのですが、実際はむしろ正反対だったと言います。あくまでも「纏う」をテーマに、固定概念に捉われない独自の表現を追求し、素材・技法・形の関係を考慮して身に纏う作品を展開する授業内容です。「デザイン案を先生に見せても全然OKが出ず、何度もやり直しました。どうしても洋服を意識したデザインになってしまい、自分の発想を『纏う』という表現へシフトさせるのに苦心しました」

壁にぶつかった時どのように乗り越えるのかを聞いてみると、「途中で投げ出したりあきらめたりはしたくなくて、乗り越えた後には絶対に良い作品ができるから、その仕上がった作品を見てみたいと思って、やり続けます。好きなことも苦手なこともやり切るっていうのを常に思っていて、取り組んだからには知識や技法を自分のものにしたいたいという根本にあります」

作品は、生き物から発想するという課題で、浅倉さんの題材はウーパールーパー。「題材を探しているときに、肌の透け感や色合いもかわいいと思って、雰囲気も気に入って設定しました」というのがその理由だそうです。透き通る素材の質感、まあるい立体の形、まさにウーパールーパーの世界観！



〈作品〉身に纏う

●イタリア研修はその全てに圧倒

高校生の特に参加したオープンキャンパスのときからイタリア文化・美術研修に興味を持っていたそうで、今年の春休みに参加しました。「イタリアの街並みや建築といったその全てに圧倒されました。研修期間は2週間ありましたが、時間が足りないくらい美術館や教会などをたくさん巡り、特にシステイナ礼拝堂の祭壇に描かれたミケランジェロの「最後の審判」は、生で見ることができて感動しました！」と語るその熱弁ぶりが、研修の充実度・満足度を物語っていました。

また、研修には現地のポローニャ大学の学生との交流機会も含まれており、「普段は外国の方と接する機会はほとんどないので、貴重な経験でした。イタリアの大学生は自分と年齢なのに大人びていてしっかりした考えを持っていて、目を見張るものがあり

ました」と同年代の現地大学生から刺激を受けたそうです。

〈イタリア文化・美術研修〉

内 容	例年2月末～3月上旬にかけて、イタリアのポローニャ大学やヴァチカン市国、オルチャ渓谷、アッシジ、フィレンツェ、ヴェネツィアを巡る14日間の研修
募集人数	24名(全学部・科対象ですが、応募者多数の場合は造形表現学科優先枠を20名、他学科優先枠を4名)
引 率 者	全期間、本学専任教員が引率
事前・事後学修	事前レクチャー、オリエンテーション、異文化理解講座、危機管理セミナー、公開帰国報告会
問合せ先	東京家政大学グローバル教育センター(03-3961-1861)

●やり残すことなく悔いなく

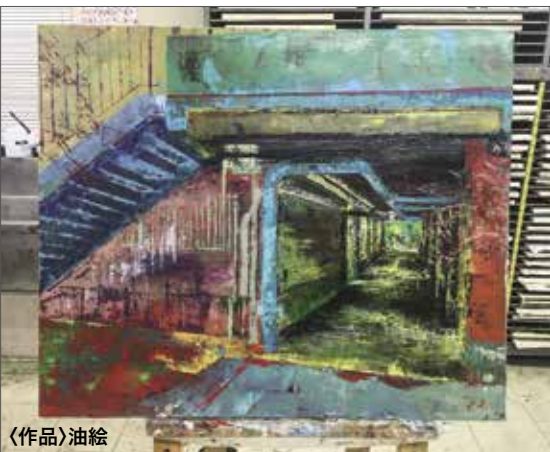
浅倉さんの時間割は3年生の今でも授業がびっしり。かなり多くの授業を履修していることについて尋ねると、「せっかく大学に入學して勉強できる環境が目の前に広がっていて、同じ学費を払うのであれば、いっぱい色々なことを吸収したい。もちろん空きコマの時間に自主学習することも大切なのですが、自分の好きな分野の専門的な授業を受けられるのは大学生の時だけ。だから、やり残すことなく悔いなく過ごしたいんです」

造形表現学科で取得できる学芸員資格の課程も履修。自分の目の前に広がるチャンスを決して無駄にすることなく、できることはやってみようという前向きな姿勢の積み重ねが、浅倉さんの大学生活を色濃く彩っています。

●教員の適切で的確なアドバイス

造形表現学科の教員との関係性については、「作品制作や課題で行き詰ったり悩んだりしたら、ちょっとしたことでも先生へ相談に行くことにしているのですが、高学年になってくると、最近では『もうちょっと考えてみたらどう?浅倉さんならできるでしょ!』と、はっぱをかけられることもありますね」と言い、3年生になった今では先生との関係性も成熟しているようです。

また、絵を描く際には遠くから客観的に見ようとしてはみるものの、それが難しいこともあるそうで、「授業中に先生が後ろから見ていて、自分でもちょっと違うかなと思ったその瞬間に、先生からアドバイスを飛んできます。適切なタイミング、しかも的確な内容で、信頼して指導を仰げる先生方がいらっしやる環境はありがたいです」と先生への尊敬の念も語ってくれました。



〈作品〉油絵

●入学前には想像もしなかった挑戦

卒業までの大学生活は残り一年余り。悔いが残らないようにやりたいことが沢山あるそうで、今年の冬休みには同級生の友人5人と原宿のギャラリーを借りてグループ展を開催しました。「先輩や友人がグループ展をしているのを見たり聞いたりして、仲の良い友人と『自分たちもいつかはやってみたいね』と以前から話していた。他の友人も誘って、今回挑戦することになりました。大学に入學する前には、自分がギャラリーで作品を展示するなんて考えてもいなかったのですが、こんなことが実現できるなんて自分でもびっくりしています!」

4年間という長くも短い限られた大学生活の時間をどう過ごすか、自分のやりたいことに真正面から向き合い、そしてその一つ一つを丁寧に最後までやり遂げる強さが、浅倉さんの大学生活をまた一歩前進させています。



〈作品〉装飾マスク



シンガポール航空 客室乗務員

新井 百香合さん

人文学部英語コミュニケーション学科
2016年卒業

個性を出して、 自分に自信を持つ

東京家政大学を卒業後、全日空のグランドスタッフを経て、現在はシンガポール航空に客室乗務員(以下、CA)として勤務している新井百香合さん。エネルギッシュな行動力と気さくな人柄を持ち合わせた素敵な卒業生をご紹介します。

- 2016年3月 東京家政大学人文学部英語コミュニケーション学科卒業
- 2016年4月 全日空にグランドスタッフとして勤務
- 2018年8月 シンガポール航空に客室乗務員として勤務(シンガポール在住)

大学では挑戦を重ね「Factをつくる」

Q: 東京家政大学を選んだ理由や大学時代について教えてください。

A: 東京家政大学を選んだ理由は、当時のパンフレットに掲載されていた海外で活躍する先輩の話を読み、興味を持ったからです。また、キャンパスが緑豊かで広く、自分がここで羽を伸ばして勉強している姿が想像できたのも理由の一つです。

大学時代は、特に「インテンシブイェングリッシュ」という授業内で行った英語でのデイベートが印象に残っています。それまでは、普段の生活で好き嫌いはわかっていても、その理由までは考えもありませんでした。この授業は大変ではありませんが、自分の意見や考えを持ち、それを表現することが習慣化されました。海外で暮らしながら外資系に勤務している今、なおさらにその重要性を肌で感じ、有益な授業だったと振り返ることができます。



Q: 航空業界に向けた就職対策を振り返ると、何が大事だと思いますか？

A: どの業界を目指すにしても共通して言えることは、「Factをつくる」ことです。これは、大学主催の就職セミナーで聞いた言葉です。わたし自身、大学時代は長期の休みを利用して、フィリピンのセブ島へ2か月間留学したり、ベトナムへ日本語教室のボランティアに参加したり、他にも国際料理教室への参加や富士山登頂など、色々挑戦しました。さらに、目指していた航空業界はシフト制なので早朝勤務にも対応できるかを探るため、授業の前に早朝のバイトをしたこともありました。

グランドスタッフから外資系CAへの転職

Q: 卒業後に経験された全日空のグランドスタッフについて教えてください。

A: 大学卒業後、本当はすぐにも海外で働きたかったのですが、一人暮らしの経験もなかったため、心の準備がつかずまでは日本で働く選択をしました。グランドスタッフの業務は、チェックインや搭乗口、保安検査場等でした。北海道の大雪の影響で全便がキャンセルとなり、明け方まで対応したこともありますし、安全保安上の理由でお客様の要望に応えられない場合に理解いただいた上でお断りしなければならぬといったイレギュラー対応には苦労しました。それでも、同期の仲間と支え合いながら乗り越えたことは今でも良い思い出です。

Q: シンガポール航空のCAへの転職について教えてください。

A: 全日空のグランドスタッフは国内線の担当でしたが、海外からのお客様対応

もしていたので、様々な方との接し方を学ぶことができました。英語対応の自信がついてきた頃から、海外での仕事を探し始めました。昔からCAには少し憧れを持っていて、航空業界のシフト制勤務も自分のライフスタイルに合っていますし、海外で働きながら日本の家族にたまに会えることにも魅力を感じて、CAへの転職を決めました。



Q: 実際にCAの仕事をしてみて、大変なことはありますか？

A: 飛行機が空港に到着してから、次の便のお客様が搭乗するまで、30分弱しかありません。清掃スタッフの間を駆け抜けながら、ビデオモニターの確認、雑誌・新聞・イヤホン・トイレのセット、タオルの温め、食事数や安全面の確認などをこなします。また、シンガポール航空ではトレーに30個ほどのドリンクが入ったカップを乗せ、片手で支えて給仕することもあるため、最初は重

くて腕がプルプルと小刻みに揺れてしまいました。訓練中に同期と家で自主練習を重ねた甲斐もあり、今では自信を持ってドリンクをお配りしています。

主張しすぎず、さりげなく

Q: 外資系航空会社のCAとしての勤務について、現在どう感じていますか？

A: 外資系と日本企業の違いとしては、例えば、20歳以上も年上のベテランCAと同じ機内で働くこともあります。平等に会話ができる点が挙げられます。もちろん、それぞれのリーダーの方針を受けて業務にあたりますが、ジョークを言うなど、堅苦しくないところが日本企業との違いだと思います。また、外資系では特に「個性を出して、自分に自信を持つ」ことが求められます。同時に、日本人CAは日本便を多く担当しますので、日本人の心も忘れないことも大切です。英語力は自分を守るためにも必須です。

わたし自身は、心配りをするのが好きなので、お客様に何て言うって差し上げたら嬉しいかな、何かできることはないかなと考えることが楽しく、個性をいかして自分のままで居られることがCAになって良かったことです。また、シンガポール航空は個人的に評価される仕組みがあり、お客様から会社を通じて自分宛てにコメントが届くこともあります。いただいたメッセージを読んで、さらにやる気を出しています。今後は、「主張しすぎず、さりげなく」目配り気配りができるCAを目指しています。

楽しい方を選んで 一歩を踏み出そう

Q: 後輩に向けてのメッセージをお願いします。

A: 興味や好奇心があることは、大学生のうちには挑戦して欲しいです。特に春休みの2か月間は貴重です。バイトだけでなく、一人で旅をするなど勇気を出して一歩踏み出すと、同じ志向を持つ友達にも出会えます。逆に、自分には合わないと思うことは、我慢せずにやめて、新しいことに挑戦するののも一つの方策です。わたしもサークルを半年でやめた経験があります。やめる勇気を出して決断し、違うことに切り替えて時間を使うことが、状況を好転させてくれる場合もあります。

そして、いつでも大事なものは、自分に正直になること。わたしは興味があることはとどろきず挑戦します。そして納得するまで全力でやり遂げます。やりたいことになかなか飛び込めないときは、大学の先生や知人のところへ行き、とにかく話をしました。最後に頼れるのは、人生の先輩なのだと思っただことを覚えていきます。

最後に余談ですが、宇宙兄弟というマンガで、宇宙科学者のシャロンさんが「迷った時は楽しい方を選びなさい」と言った言葉に共感しました。就活などで行き詰ったら、読むと心がスッと穏やかになるかもしれないですよ。



シンガポールの風景

新井百香合さんって、こんな人！

座右の銘： やればできる、やらないきゃできない

好きな食べ物：タイ料理のトムカー

休日の過ごし方：睡眠、ジム、スペイン語の勉強、Netflix、家事

好きな国や都市：●フィリピンのセブ島（大学の春休みに2か月間留学し、アナザースカイのような場所。

現地の方は人懐っこくて、スーパーでも誰にでも話しかけるゆるさも絶妙。）

●ベトナムのホーチミン・ダナン・フェイ（大学時代に2週間のボランティアをしながらホームステイも経験。）

●スペイン（街並みがアートで素敵な国、食べ物もおいしい！）

高等学校

2020年 年頭所感



KASEIからSEKAIへ

～IB教育で「未来を創造し、世界で輝く女性」を育成～

校長

篠澤 文雄

我が国は、少子・高齢化の中、あらゆる分野で高度化、情報化、国際化が急激に進展しています。ライフスタイルは多様化し、女性も将来を見ずえてどのように生きていくかが問われています。そのため、中・高生の頃から自分の将来像をイメージし、さまざまな選択肢の中から自分を輝かせる学びを選択し、自己を磨いていくことがとても大切です。

附属中高では、この社会の変化を見据え、社会で活躍し貢献する女性を育成するため、令和2年度から MYP (ミドル・イヤー・プログラム) 候補校として国際バカロレア (IB) 教育を試行いたします。10の学習者像と全人教育は建学の精神「自主自律」と生活信条「愛情・勤勉・聡明」と符合するもので、生徒が「未来を創造し、世界で輝く女性」となるべく、大学

のグローバル教育と連動する新たな「KASEIの学び」として、国際水準の質の高い教育を推進してまいります。

その学びのコンセプトは、「探究学習」と「英語プレゼン力育成」です。SDGs などの地球的課題解決を含め、生徒自らが課題を設定し解決する探究の学びを通して、リベラルアーツの教科横断で、生徒に新しい学力である課題解決力を養成する思考力、判断力、表現力、情報活用力などをつけ、生徒一人ひとりの自己実現を図ってまいります。

附属中高は、今年を「改革元年」と位置付け、「知性と品性を備え、未来を創造し、世界で輝く自律した「KASEI WOMEN」を育てるべく取り組んでまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

中学 中学にチアダンスの部活動を創設します！

創部30年の伝統がある高校生チアダンスチーム“東京家政INGERS”に中学生チームができます。4月から部活動としてスタートします。

4月より中学校にドリルチーム部を創設し、募集を開始します。指導者には、ABE DANCE PROMOTION からコーチを招聘します。

チアダンスとは

チアリーディングの中のダンス部分を独立させた競技で、約2分半の時間内でダンスの技術や振り付け構成、チームとしての一体感や表現力などが採点の対象となるスポーツです。
(日本チアダンス協会公式サイトより)

中学ドリルチーム部・参加予定の行事

- ・緑苑祭 (本校文化祭) への出演
- ・ABE DANCE PROMOTION フェスティバルへの出演
- ・大会への出場
 - ①JCDA 全日本チアダンス選手権
 - ②USA の主催する大会

その他、チアイベントやダンス講習会等へ参加します。

心がけたいのは、
笑顔と元気いっぱいのパフォーマンス、
チームの一体感あふれる演技です。



INGERS (高校ドリルチーム部) JCDA2018 決勝

中高 IB(国際バカロレア) MYP(ミドル・イヤー・プログラム) 認定校に向けて

現在、附属中学校・高等学校では、より質の高い授業を目指して、校内および校外で教員研修を重ねてきております。その一環として、世界的に評価の高い国際バカロレア（IB）教育を学ぶ機会も持ちました。本年度は10名の教員がIBO主催のカテゴリー別研修会に参加し、探究的な学びに対する理解を深め、10月22日にはIB(国際バカロレア) MYP(ミドル・イヤー・プログラム)の候補校になりました。

IBは日本ではまだ認知度が高くはありませんが、政府の後

押しもあって、認定校は増えております。また、世界的には、近年、大幅な増加が見られ、5000校を超えるIBワールド・スクールがあります。このような背景には、「より良い、より平和な世界を築くことに貢献する」人の育成を目指すというIBの理念があります。

認定校への道のりは容易なものではありませんが、附属中高はIBから多くのことを学びながら、日々の教育活動充実に取り組みで参りたいと思います。
(国際部 和田史生)

中学 中学校入試予定

区分		試験日	試験科目
第1回	特進(E)class	2/1(土) 午前	①2科目(国語・算数)
	進学(i)class		①2科目(国語・算数) ②英語 ①～②から1つ選択
第2回	特進(E)class	2/1(土) 午後	①2科目(国語・算数) ②4科目(国語・算数・社会・理科)
	進学(i)class		③適性検査 I・II ①～③から1つ選択
第3回	特進(E)class	2/2(日) 午後	2科目(国語・算数)または
	進学(i)class		4科目(国語・算数・社会・理科)
第4回	特進(E)class	2/3(月) 午後	適性検査型思考力問題I・II
	進学(i)class		
第5回	特進(E)class	2/4(火) 午前	2科目(国語・算数)
	進学(i)class		
第6回	特進(E)class	2/10(月) 午前	思考力問題 I(国算・思考力)
	進学(i)class		思考力問題 II(問題解決型・論述)

※第4回・第6回入試を新設しました。幅広い層の方に受験いただけます。 ※第2回から第6回の入試は奨学生入試も兼ねます。

高校 高等学校入試予定

区分		試験日	試験科目
推薦入試	特進(E)class	A推薦(単願)	1/22(水)
	特進(E)class	B推薦(併願)	1/22・23(水・木)
	進学(i)class	A推薦(単願)	1/22(水)
	進学(i)class	B推薦(併願)	1/22・23(水・木)
一般入試	特進(E)class	単願優遇・併願優遇含む	2/10・13(月・木)
	進学(i)class		
			・適性検査(国・数・英)3科60分 ・グループ面接
			・国・数・英(リスニングあり)(各50分)

2021年
4月～

家政学部を再編成し、新しい家政学部に加えて、 児童学部と栄養学部が誕生します

多様な生き方を認め合い、科学・技術の急速な進歩によって到来する「超スマート社会」で生きる人を支えるために、本学が目指す「ひとの生(Life)を支える学の構築」をより一層の求心力を備えて推進することを目指して、2021年4月に家政学部は生まれ変わります。

〈2021年4月設置構想中〉

児童学部 (Faculty of Child Education and Care)

多様な背景を持つ子ども一人ひとりの「最善の利益」を考慮できる高い専門性を備え、教育界・保育界をリードする素養を持った人材を育成します。

- ・児童学科 (現 児童学科児童学専攻)
- ・子育て支援学科 (現 児童学科育児支援専攻)
- ・初等教育学科 (現 児童教育学科)

入学定員 295名

栄養学部 (Faculty of Nutrition)

建学の精神である女性の「自主自律」に基づき、「食と健康」における科学的で幅広い知識と実践力を駆使し、ひとの生(Life)を支援できる人材を養成することを目的とします。

- ・栄養学科 (現 栄養学科栄養学専攻)
- ・管理栄養学科 (現 栄養学科管理栄養士専攻)

入学定員 280名

家政学部 (Faculty of Home Economics)

本学が推進する「ひとの生(Life)を支える学」を担う学問分野として、AIの急速な進化やSDGs達成に向けた未来社会で、豊かな人生を過ごすための生活技術を創造し、一人ひとりの生活を輝かせる人材の育成を目指します。

- ・服飾美術学科 (現 服飾美術学科)
- ・環境教育学科 (現 環境教育学科)
- ・造形表現学科 (現 造形表現学科)

入学定員 370名

～2021年3月 (現)家政学部 (Faculty of Home Economics)

- ・児童学科児童学専攻
- ・児童学科育児支援専攻
- ・児童教育学科
- ・栄養学科栄養学専攻
- ・栄養学科管理栄養士専攻
- ・服飾美術学科
- ・環境教育学科
- ・造形表現学科

入学定員 945名

人文学部 入学定員 270名

健康科学部 入学定員 180名

子ども学部 入学定員 120名

短期大学部 入学定員 200名

※全て仮称

附属中高に「弘前雪明かり」が植樹される

2019年10月26日(土)、東京家政大学附属女子中学校・高等学校に、青森県弘前発祥の桜「弘前雪明かり」が植樹されました。弘前市からは鎌田副市長、本宮農林部長、本学からは菅谷理事長、篠澤校長が出席しました。

附属女子中高と弘前市との交流は、27年前に遡ります。1991年に弘前市のリンゴ農家は台風で甚大な被害を受けました。翌92年に附属女子中学が修学旅行で弘前市りんご公園を訪れ、リンゴを緑苑祭(本学文化祭)のバザーで扱うことを弘前市職員が提案。93年から緑苑祭でのリンゴ販売を開始、毎年人気を集めています。この収益金は、家庭の事情で通学が困難となった生徒を支援する基金に役立ててきました。

桜が植えられたのは、十条門から中高校舎へ向かう緩やかなスロープの途中。弘前市との絆の桜は、附属女子中高生の成長を毎日見守り、春には入学式・卒業式を祝福することでしょう。

※掲載写真のキャラクター=弘前城築城400年祭のマスコットキャラクター「たか丸くん」



植樹の様子

学生企画「フットサル大会」初開催！ in 狭山キャンパス

2019年10月～12月に、狭山キャンパスにて「学科対抗球技祭（フットサル大会）」を初めて開催。学生が発起人となって企画を進め、実現しました。この大会の目的は、学生同士が学科間・学年間で交流を深め、さらには教職員も参加することで狭山キャンパス全体の活性化に繋げること。参加チームは、学科ごとに学年を問わず5人以上で構成された全6チームで、試合は2グループのリーグ戦を経て、順位決定戦を行いました。12月4日（水）の決勝戦は、看護学科のチームが延長戦の末、5対4で勝利し、初代チャンピオンに輝き、表彰状と景品が贈呈されました。

スポーツを通じて楽しく気軽に交流が図れる場となりました。今後は、バスケットボールなどの他種目での開催を含め、継続的な開催を視野に入れています。



優勝した看護学科チーム



白熱した試合



学生たちのプレー



応援部隊も気合十分

東京家政大学博物館

『裁縫雛形 渡辺学園裁縫雛形 コレクション』を出版

2019年8月、東京家政大学博物館が収蔵する「渡辺学園裁縫雛形コレクション」についてコンパクトにまとめた一冊が発売されました。217種類の衣服や生活用品の裁縫雛形を、和装、洋装、有職類、生活用品に分類して解説。カラー写真、一部に寸法図入り。「細部へのこだわり」「改良服」「下着」他コラムページも収録しています。

- 〈目次〉
- ・裁縫雛形とは
 - ・和装
 - ・洋装
 - ・有職類
 - ・生活用品

- 【コラム】
- 細部へのこだわり／改良服／手縫いとミシン縫い／江戸仕込みの辰五郎、アメリカ帰りの滋
 - 洋服裁縫をめぐる—／下着／民族服の製作

本体価格	2,640円（税込）
編著	東京家政大学博物館
発行所	光村推古書院
形態	296ページ 16.3×12.1cm



全国の書店・オンライン書店でお買い求めいただけます。

問い合わせ先：東京家政大学博物館 03-3961-2918

日本経済新聞(全国版)への広告掲載

本学の知名度・認知度向上を目的として、昨年に引き続き、日本経済新聞に広告(朝刊・全国版/全5段)を6週に渡って連載しました。「しなやかに、凛と生きる。」をテーマに、理事長及び学長そして学部長が今後のビジョン等について語りました。

- 第1回 2019年10月16日(水)
理事長 菅谷 定彦

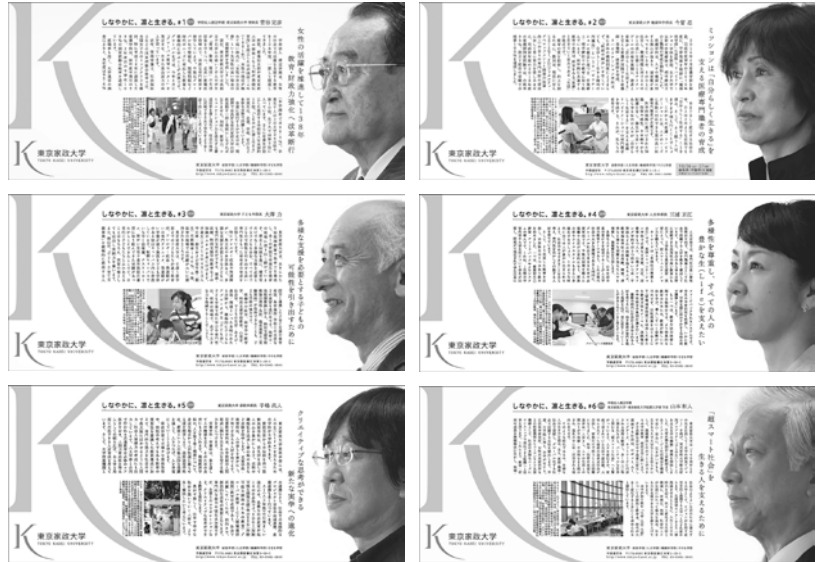
- 第2回 2019年10月23日(水)
健康科学部長 今留 忍

- 第3回 2019年10月30日(水)
子ども学部長 大澤 力

- 第4回 2019年11月 6日(水)
人文学部長 三浦 正江

- 第5回 2019年11月13日(水)
家政学部長 手嶋 尚人

- 第6回 2019年11月20日(水)
学長 山本 和人



第1回
2019年10月16日

女性の活躍を推進して138年 教育・財政力強化へ改革断行

理事長 菅谷 定彦



学校法人 渡辺学園は、女性の社会での活躍を支援する教育を138年間、一貫して推進してきました。

校祖、渡邊辰五郎が東京家政大学の源流となる「和洋裁縫伝習所」を設立したのが明治14年(1881年)。女性の地位が極めて低い時代に「女性の自主自律」という先見性の高い理念の下、裁縫教師を育成しました。

現在、東京家政大学では真面目で向上心の強い7千人の学生が「愛情、勤勉、聡明」の生活信条を守りつつ、志高い教職員の下、高度な専門教育を修学しています。今後はグローバル化や情報化、環境問題など時代のニーズに対応した教養も積極的に学ぶことが必要です。グローバル化では、今年4月に「グローバル教育センター」を発足させ、生きた英会話力の向上を図っています。

近年、管理栄養士、社会福祉士などの国家試験合格率では、全国女子大のトップクラスを維持。特に平成26年に創設した看護学科は、初年度卒業生の99%、2年度目の今春は100%の国家試験合格

格率を達成しています。

就職率も高く、大学通信の調査によると、本年度は95.6%(本学調査では98.3%)。卒業生千人以上の大学240校中、第10位、女子大では第3位に入っています。さらに卒業生が設立した現存する学校法人は全国約30校。「しなやかに凛と生きる」卒業生は、企業、学校、官庁など多彩な分野で活躍しています。

急速に進行する少子化の中、現段階では良好な東京家政大学の財政基盤を一段と強固にしなければなりません。同時に、教育力、コミュニケーション力を強化する構造改革を推し進めて、社会の発展に貢献できる女子学生をより多く送り出したいと考えています。



4年目に入った
月1回のあいさつ運動

第2回
2019年10月23日

ミッションは「自分らしく生きる」を 支える医療専門職者の育成

健康科学部長 今留忍



2014年4月看護学部を開設、完成年度翌年の2018年度に、学部発展を視野に「健康科学部」に改組し、リハビリテーション学科を新設。女子大学では初の作業療法士、理学療法士の2職種の育成を開始しました。

看護学科は、人々の健康に対する関心が強まり、価値観が変わってきている中、そのひとに注目し、健康問題に対するそのひとの思いを感じとるナイチンゲールの示唆を基盤に、患者と家族が「自分らしく生活する」を支える看護が実践できる看護師・保健師・助産師を育成。

リハビリテーション学科は、単に身体の機能回復にとどまらず、「疾病や障がい有していても、自分らしく生きる権利の再獲得」というリハビリテーションの概念に基づき、作業療法士・理学療法士の教育に取り組んでいます。両学科に共通する教育の本質は、病気をみる「医療」と生きていく営みである「生活」の視点です。

教育の質を担保し、向上を図るために、教員は、現状に甘んじることなく、FD（ファカルティ・ディベロップメント）

授業の改善・向上）や自らの専門性の研究に対して常に努力を惜しみません。完成年度度の2018年度の看護師国家試験では、合格率99%。設立2度目の受験で合格率100%を達成しました。

めまぐるしく変化する社会の中、ひとどのような状況でも「自分らしく生活する」ことを望み、そして、そう願う人は、ますます増え行くことでしょう。これからの看護・リハビリテーションには、人々のニーズに柔軟に対応できる質の高い医療専門職者が必要です。

科学的根拠に基づけられた知識・技術や感性、きめ細やかな配慮を有し、誕生から老いまであらゆる年代の人々が「自分らしく生活する」を支える看護・リハビリテーションの専門職者を育成する。これが私たちの使命です。



看護現場で活躍する卒業生

第3回
2019年10月30日

多様な支援を必要とする子どもの 可能性を引き出すために

子ども学部長 大澤力



東京家政大学は、永きにわたり幼稚園教諭や保育士を養成し、多くの有能な卒業生を保育の現場に送り出し続けています。歴史と伝統を基に、健常児だけでなく多様な支援を必要とする子どもを含む、すべての子どもの可能性を引き出せる高い専門性を持った保育者の育成を目指しています。

特にアレルギー疾患や発達障がい、異文化や多言語など、多様な支援を必要とする子どもにも専門的な対応ができる、健康・医療、特別支援学校教育などの知識やスキルを身に着けます。卒業生（2014年4月1日入学の第一期生および翌年第二期生）は就職率100%。今後、保育の現場で大いに期待されるところで

東京家政大学は、0歳～未就学前までの子どもたちが通う保育所、アレルギー疾患・発達障がいの専門クリニック、発達障がい児童が通う施設を子ども学部のある狭山キャンパス内に併設しています。板橋キャンパスでいち早く幼稚園、ナーズリールーム、障がい児母子通所施設の運営に取り組んできた実績があった

からこそできたことです。日常的に子どもたちとふれあえることはもちろん、実習の場としても活用し実践力を養います。また、狭山市、「子ども・子育て支援事業」を積極的に推進する人間市と連携した子育て支援や保育相談、保育施設・学校との交流などの実習も進行中です。保育士・幼稚園教諭に加え、特別支援学校教諭の資格・免許、臨床美術士（受験資格）の取得ができることも、子ども学部の強みです。

保健学や医学、保育学や教育学、特別支援学校教育、心理学、社会学、子どもの生活・あそび・表現・環境といった多岐にわたる分野から、積極的に子どもにアプローチする「子ども学」。子ども学部で得た学びや専門性は、保育の現場で、必ずや大きな力を発揮することでしょう。



保育現場で活躍する卒業生

第4回
2019年11月6日

多様性を尊重し、すべての人の豊かな生(Life)を支えたい

人文学部長 三浦正江



人文学部では、専門性の高い資格取得が可能で、専門職業人として社会で活躍する人材を数多く輩出しています。また、社会のあらゆる分野に貢献できる汎用性の高い教育にも注力し、3学科とも豊富な演習・実習によって、対人コミュニケーション力を鍛えていきます。

キーワードは「多様性の尊重と共生」です。英語コミュニケーション学科では異なる言語、文化、宗教等をもつ人々、心理カウンセリング学科ではうつ病やいじめ・不登校など心の問題を抱える人々、教育福祉学科では高齢、障害、虐待など様々な困難を抱えた人々を理解し、課題解決を目指します。

多様な人々と共生し、心や生活の真の豊かさを追求することが人文学部の教育テーマであり、これは現代社会の大きな課題であると同時に、グローバル社会で生きるための必須事項です。今後は国境を越えた協働や生活が日常的になり、家族の形やライフスタイルもさらに多様化するでしょう。このような時代に全ての人が豊かに生きられるよう、社会の中でできることを自ら考え、専門性を活かして行動する人材を育てています。

そして、より充実した教育を目指し、学部独自の2つの取り組みを始めました。一つは、蓄積型自己評価・フィードバックWebシステムの導入です。これは、1年間の学習内容や大学生活について学生が回答し、結果が可視化されて学生自身にフィードバックされるシステムです。学生の学習状況を把握し、いかに教育・学習支援に活かすかを3学科合同で議論しています。

もう一つは、教育方法の改善に関する勉強会です。より効果的な教育のためには、教員が新しい手法を学び、導入していく姿勢が不可欠です。反転授業をはじめICT(情報通信技術)を活用した新たな教育方法をテーマに、実践報告や学科混合の集団討議を行います。

激動の時代に社会から求められる人材を育てるには、我々教員が専門を超えて視野を広げ、常に変化していくことが求められていると考えています。



グループワーク授業風景

第5回
2019年11月13日

クリエイティブな思考ができる新たな実学への進化

家政学部長 手嶋尚人



東京家政大学家政学部には、人の生(Life)を支えるための学科が6学科あります。

創設当初からの伝統を持つ服飾美術学科は、衣生活を通して人の心を豊かにします。衣料の機能性を追求し着心地の良さなど衣料を科学します。児童学科・保育科は、人の育ちを豊かにし、子育てを支える人材を育てます。児童教育学科は、小学校期の人間形成に関わり生きる力を育てる能力を身につけます。

栄養学科・栄養科は、食を通して人の健康を支え、そのための食育にも力を入れます。環境教育学科は、人を取り巻く環境について、身近な視点から人が快適に暮らせる道を探求します。造形表現学科は、創造という人の根元的な発露を通して、人をつなげ、人を幸福にしていくことを学びます。

家政学部では様々な資格取得や、校相の考えでもある教育の重要性を意識した教員養成に加えて、専門的な能力を社会の中で最大限に活かせるように人間力・社会人基礎力の育成にも注力しています。人文学部と合同で行われる共通教育は必修のコア科目をおき、人間力育成科目等

は人としての幅を広げ、あらゆる局面に対応できる人材育成を考えています。そして、大学附置機関との連携により、社会での実践的なプロジェクト学習や地域連携、産業界連携も多く行っています。

A I(人口知能)の目覚ましい進化の中で、急激な社会変革が起こるのは必然です。SDGs(持続可能な開発目標)等のESD(持続可能な開発のための教育)・グローバル教育・ICT(情報通信技術)教育は必須であり、社会で活躍していくには、前向きで、創造的な思考が重要となります。専門的な能力の強化は勿論ですが、企業とのコラボレーションなど、クリエイティブな思考ができる教育も強化します。

豊かで楽しく、公平で幸せな社会を築いていく人材を、より多く輩出したいと考えています。



原寸制作で学ぶ授業
「客人をもてなす空間」

「超スマート社会」を 生きる人を支えるために

学長 山本和人



東京家政大学は「140周年とその先を目指して―本学の将来ビジョン―」を掲げ、東京家政大学総合研究プロジェクト「ひとの生(Life)を支える学の構築」事業を開始しました。生命の誕生期から高齢期まで、各ライフステージと生活場面を健康で安心・安全に、生きがいをもち、生きるうえで大切なことを明らかにして、課題解決に生かすことができる本学の教育・研究を世に問います。

少子高齢社会の中で、急速に変化し進展する社会は、ロボット、AI、ビッグデータ、ネットワークに代表される技術を駆使し、多くの人工物に囲まれながら、パーソナルな世界と関わる「超スマート社会」へと繋がっています。人々を変化させ、家庭で営まれていた生活や諸活動、大切にされていた価値の追求は社会が分担し、家族だけで担うことは困難になりました。科学・技術の急速な進歩は一人歩きし、人々の生活との関りが不明瞭・不分明のまま提示され、混乱の中に利活用される傾向にあります。

そのような時代である今、多様な人の生き方を認め、支え、家庭・職場・社会で貢献し、グローバル化する社会で活躍

する女性を輩出します。学部、大学院に加え、本学が有する、生活科学研究所、女性未来研究所などの附置機関をヒューマンライフ支援機構として、社会の多様なニーズにワンストップで対応できる組織へと改革を図ります。これにより、教育・研究の成果を課題解決に生かし、地域・社会のよりよい生活のために還元する大学として、ビジョンが目指す産学官民と連携する大学へと生まれ変わります。生涯学習センターをより一層発展させるとともに、人生100年時代を迎え、次々と変化する生活と環境に、卒業生、地域・社会の人々が生涯にわたって能力を高め、生きる力を支援できる大学を創り上げていきます。

本学が取り組む「生命・生活・生涯」についての研究と教育は、時代が大きく変化するときこそ求められると確信しています。



図書館 2階閲覧席

番外編

理事長編広告のサブカット写真で ご紹介している「あいさつ運動」とは？

学生同士、学生と教職員、教職員同士…、そして学園を訪問してくださる方々と元気に挨拶を交わし合う学園を目指し、あいさつキャンペーン「にこにこ あいさつ運動」を2016年11月より始めました。毎月“にこにこ”の語呂合わせで25日に実施しています。

本年度の7月からは、ラクロス部も参加。夏場はポロシャツに短パンの体育部らしい装いで登場し、フレッシュで、元気ハツラツな、清々しい「おはようございます！」を届けています。また、「みなさん、今日も一日頑張りましょう」、「課題はちゃんとやってきました

かー?」「先生の話をよく聞きましょう！」などなど、バリエーション豊かに盛り上げています。登校する学生も、想定外の掛け声に思わずクスッと笑顔になり、いつもよりも元気に1日をスタートできる朝になっているようです。



「ひとの生(Life)を支える学の構築」研究の挑戦

大学生の不定愁訴と

食事状況の関連と解決策の提案

研究者：家政学部栄養学科

* 峯木真知子 / 関目綾子 / 澤田めぐみ / 和田涼子 / 田中寛 / 太田二樹 / 冨田知里

* 執筆者

若年女性における心身の不調に注目

総合研究プロジェクト事業の5つのライフステージにおける健康生活研究の内、青年期を研究課題としています。青年期は、ヒトの一生の中で体力的に最も活発であり、元気で健康な時期です。青年期の初期にあたる学生の食生活の乱れや不定愁訴については多くの報告がありますが、将来のメタボリックシンドロームや骨粗鬆症発症などにも関わるこの時期に日常より栄養バランスの良い食生活を身に着けておくことは重要な事です。若年女性における心身の不調は自身の問題だけにとどまらず、将来的には母体となる可能性がありますので、将来的な日本社会にも影響を及ぼす問題です。

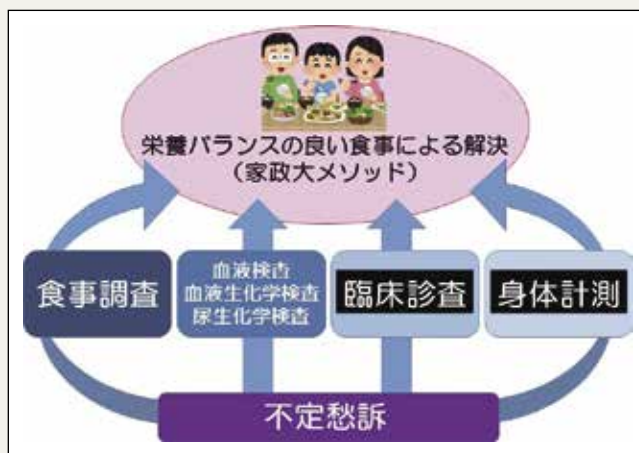
不定愁訴を栄養面・食事の摂り方から改善

女子学生の不定愁訴と食事の摂取状況について、正確な食事調査や血液生化学検査、臨床診査、身体計測を総合して検討した報告は多くはありません。そこで、女子大学

生を対象に、質問票による食事調査および健康調査を行い、現在の女子大学生の食事状況および不定愁訴の実態を把握し、栄養素の過不足と特定の訴えとの間に関連性があるかどうかを解析します。

また、来年度の研究3年目には、女子学生に食事の介入研究を行い、自覚症状の変化を捉えていきます。これらの研究より、未病や健康増進のための問題点を明らかにして、改善案を提案・発信します。さらに、対象となる栄養学科の学生は、管理栄養士・栄養士として人々の健康に関わる職に就く者が多いことから、学生のうちから健康的な生活習慣についての意識を高め、実践していくことは、専門教育の側面から必要です。

本研究では、日常にみられる不定愁訴を栄養面あるいは食事の摂り方から改善し、栄養バランスの良い食事による解決法を紹介いたします。この解決法は、各自の「健康生活」につながり、どの世代においても「QOL」がオリティ・オブ・ライフ、生活の質の維持・向上につながるかと考えています。

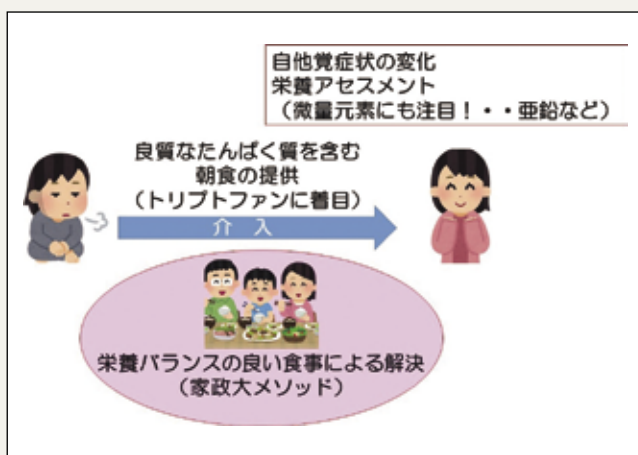


学科間における栄養摂取状況の差

2018年10月に行った調査の対象者は、栄養学科4年生115名と児童学科43名の計158名。学科間を比較すると、ビタミンD、ナイアシン、ビタミンB6の摂取量は、栄養学科の学生が児童学科より有意に多くとっていることがわかりました。栄養学科の学生よりも児童学科の学生の方が、健康状態が悪い傾向が見られ、これは児童学科の学生の栄養素摂取状況が悪いことも一因として考えられます。幼稚園教諭・保育士として就職していく学生たちが、心身ともに健康に働き続けるために食生活の実態を把握し改善点を探ることも重要であると考えています。

また近年、微量元素の中でも亜鉛に関し

て、その多彩な栄養学的意義が明らかになり、亜鉛欠乏症への関心が高まっています。わが国の18〜20歳の健康若年女性において79%が低亜鉛血症を認めたとの報告もありますので、女子大学生における亜鉛の摂取不足が血清亜鉛値および自覚症状に及ぼす影響も併せて検討します。



研究モットーは「教育に還元!」

本研究の対象者は、女子学生です。自分のデータに興味を持って観察することで栄養アセスメントを理解し、臨床栄養の理解を深めることが、管理栄養士・栄養士としての専門職への自覚を促します。これが、職業人として自信につながると考えています。研究成果を通じて、学生のモチベーションを高める。これが本研究の目指すところです。

Tokyo Kasei Press Vol.83

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

2020年1月発行

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子（なでしこ）の花が形どられています。“平成”から“令和”の時代となった本年発行の Tokyo Kasei Press を A4 サイズでの広報誌にリニューアルし「なでしこ」の通称名を付けました。これからの時代を“しなやかに凛と生きる”女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

■学園運営室

門脇亜希子、川島 直子、坂本 理恵、嶋田花亜菜

■広報・広告推進提言グループ

安孫子奈緒、枝 隼也、小野 晴香、熊倉 直子
古渡由香里、齋藤 麻衣、仲谷ちはる、原田 陽子
矢野 穂

■発行人

菅谷 定彦（学校法人渡辺学園 理事長）

■編集責任者

岩井 絹江（学園運営室 室長）

■編集・発行

学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690

■制作・印刷

株式会社弘文社

■表紙デザイン

坂本 理恵

■広報誌なでしこ バックナンバー



■キャンパス 季節の風景



松



雪うさぎ



山茶花

次号(2020年4月)は、新入生向け企画、学生・生徒の活動について特集する予定です。
掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

小学生低学年の頃に通っていた学童保育で、わたしは「国旗かるた」に没頭していた。壁に張られた国旗付きの世界地図を毎日見続け、子どもゆえに脳が柔軟だったことも手伝って、国旗をすいすい記憶することができた。ソウル五輪が開催された際には（歳の頃合いがバレル…）、世界各国の国旗がテレビに映るたび、瞬時に国名を連呼して、両親に褒められるのも嬉しかった。その後、世界地図が球体になった地球儀なるものを知り、おもちゃではなく学習用品に分類されるそれを、祖母はすんなり買ってくれた。くるくるとその球体を回しながら、湾岸戦争が起きていた中東の位置を探してみた。これが、わたしと世界との出会いだった。2020年は何と言っても東京五輪、平和の風に吹かれ、東京の空に揺れる世界の国旗を見上げたい。今回も記事作成にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。(N.K)

ある日、都内を歩いていたら警察官等が各交差点に立ち、信号機を操作している場面に遭遇しました。人々が道路沿いに集まり始め、ただならぬ気配を感じ、警備の方にどなたがいらっしゃるのかと厚かましくも尋ねたところ、上皇、上皇后両陛下とのことでした。早速通り沿いに場所を確保し、興奮して車を待っていました。恥ずかしながら大声でお名前を叫んでしまいました。ほんの数秒でしたが、人生初のことだったので、とても幸せな気持ちになれた体験でした。平成から令和の良き思い出となりました。

83号発行にあたり、多忙な中寄稿してくださった皆様に心より感謝申し上げます。(A.K)

新しい年になりました。どんな1年にしたいと思ひながら除夜の鐘を聞かれましたか。

2020年は東京を中心に2回目のオリンピックが開催されます。そして今年は【子年】にあたり、新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。

また2020年は、本学の創立者渡邊辰五郎先生が文京区湯島に本学の原点、和洋裁縫縫習所を開設して140年目を迎える前年でもあり、未来に向かって大学が大きく発展するための準備の年でもあります。活躍する卒業生や在学生の様子は、毎号この広報誌「なでしこ」でも掲載していますが、卒業生が脈々と築いてきた社会でいきいき活躍する実績は、何にも代えがたい財産であり、その活躍に改めて感謝の念を抱きます。

東京家政大学は2021年から家政学部を再編し新家政学部・児童学部・栄養学部の3学部となり、大学全体で人文学部・健康科学部・子ども学部の6学部14学科になります。さらに短大保育科・栄養科を含めどの分野も、「ひとの生(life)を支え、一人ひとりの生活を輝かせる人材養成」を目指します。2021年4月からの新体制の詳細は、次号に掲載いたします。

お読みくださった皆さまにとって、2020年・子年が幸多き1年でありますようご祈念申し上げます。83号の発行においては、年末の業務繁忙期に快くご協力くださいました皆様ありがとうございました。(K.I)

理事長コラム “世界を生きる”

学校法人渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経ニューヨーク特派員時代③

米国トップリーダー群像①

IBM会長と世界初の単体会見

1971年から3年間の日本経済新聞ニューヨーク特派員時代、経済界を中心に米国のトップリーダー50名以上への単独インタビューを行った。2度のニクソン・シヨック、中国の国連代表権問題など多忙な報道活動の合間をぬって、月・5人の単体会見をこなし計算になる。

当時の日米関係は、わが国が1968年に西独を抜き米国に次ぐ世界2位の経済大国になったにもかかわらず貿易、資本の対外開放のテンポが遅い一方、円安を利用しての対米輸出急増を続け、米国内部経済界指導者は強い不満を持っていた。

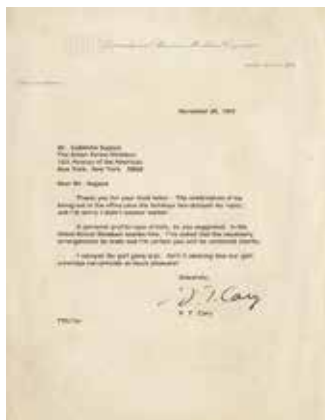
このため私は、伝聞情報でなく、生(ナマ)の声をわが国指導層の必読紙、日本経済新聞に掲載すべきと考えた。赴任100日間で私が真っ先に単独インタビューしたのは、ペプシコ会長で、経済界首脳で構成するECAT(緊急貿易対策委員会)会長を務め、当時のニクソン大統領に近いケン・ドール氏、日米繊維交渉で米繊維業界のリーダーを務める、マツカラATM(米繊維製造業者協会)会長、全米商業連盟のシャムウェイ会長である。

ニューヨークに赴任後3日目に、訪米中の牧田三菱重工社長から、2日後の土曜日の夜に「ワシントンでパーティをするのでどうしても来てくれ」との電話があり、引き継ぎ期間中の多忙な日程をやりくりして出かけた。その席で三菱重工と提携関係にあるクライスラーのリカード社長、キャタピラー・トラクターのブラッキー会長を紹介され、2人とも1カ月以内にインタビュー出来た。

要人との単体会見で私は「通訳をつけない」、「テープレコーダーも使わない」の2点を貫き通した。私の英語の発音は完璧ではないが、ヒアリングには秘かな自信があった。先方も通訳、テープレコーダー無しに私に敬意を持ちリラックスして対応、いずれも中味の濃い会見になった。

GM(ゼネラル・モーターズ)のガスパンバーグ会長、エッソ・スタンダード石油のジャミソン会長ら世界一企業のリーダーにも会い、それぞれ日本経済新聞のインタビュー記事と人物紹介の「ワールド・ビジネスマン」に紹介。内外から評

価を得たところで私がねらいを定めたのは、トップが単体会見しないポリシーを堅持するIBM(インターナショナル・ビジネス・マシーン)のケリー会長だ。



IBMケリー会長(当時)からの手紙

1972年夏、IBMの海外事業総括会社IBMワールド・トレード社のデューン会長にインタビューした際にケリー会長の紹介を依頼したが「本社の歴代トップはウォール・ストリート・ジャーナル、ニューヨーク・タイムズとも会ったことがない」と言われたが、私はケリー会長への要請文書を数度出した。

1972年夏の終わりマンハッタンの日経オフィスに、米国屈指の企業トップ幹旋会社のステュアート会長が訪ねて来た。「Mr.菅谷は日本のマスコミを代表する特派員で日本企業のトップと親しいと聞いている。私は日本の商社活動に強い関心があり、在米の商社トップを紹介して欲しい」とのこと。私は旧知の木戸米國三菱商事社長にその場で電話し、引き合ませた。

数日後ステュアート会長からお礼の夕食会をと、マンハッタンから近いロングアイランドの自宅に招かれた。その時私は「IBMのケリー会長を知っていたら紹介して欲しい」と問うと「フランク(ケリー氏のファーストネーム)なら友人だ、

「コンタクトする」との返事。
一週間後「フランクはOKした。但し菅谷特派員の人柄を知りたいので、2人がメンバーのゴルフクラブで一緒にプレーしたい」との電話。紅葉が始まったニューヨーク郊外のゴルフ場で出会ったケリー会長は私にワンラウンド上限3ドルのベッティングを提案。結果は大接戦の末、私が1ドルを獲得してケリー会長にサインをもらったのが、写真の1ドル紙幣である。



IBMケリー会長(当時)のサイン入り1ドル札

プレー終了後食堂で雑談したことをベースに「ワールド・ビジネスマン」。年末にはマンハッタンのIBMワールド・トレードで1時間余、世界のマスコミで初のIBM会長単体会見となり、内外に大きな反響を呼んだ。

(日本経済新聞社専務取締役、テレビ東京代表取締役社長・会長を歴任し、現在渡辺学園理事長)

※次号は日経ニューヨーク特派員時代④「米国トップ経営者群像②」です。